
第1日 10月28日(金) 13:00~15:30

午後の部会 (13:00~15:30)

部会1 「日本外交における『価値』の再検討」

司会 井上 寿一 (学習院大学)

報告 奈良岡 聡智 (京都大学)

「近代日本における『理念的外交』——第一次世界大戦期を中心に」

楠 綾子 (国際日本文化研究センター)

「戦後日本外交と『価値』——吉田路線をめぐって」

長 有紀枝 (立教大学)

「人間の安全保障と日本外交における『価値』の再検討」

討論 中西 寛 (京都大学)

佐々木 雄一 (明治学院大学)

部会2 「GAFAをめぐる国際政治経済学」

司会 古城 佳子 (青山学院大学)

報告 吉沢 晃 (関西大学)

「EUの競争政策とデジタル・プラットフォーム事業者規制」

須田 祐子 (東京外国語大学)

「デジタル時代の『規制の政治』とデータプライバシー」

津田 久美子 (北海学園大学)

「デジタル課税の歴史的合意——意義と課題」

討論 遠藤 乾 (東京大学)

西村 もも子 (東京女子大学)

部会3 「国際政治史は刷新されるのか——接近法を問いなおす」

司会 柴山 太 (関西学院大学)

報告 佐藤 尚平 (早稲田大学)

「脱植民地化と史料の移管・破棄・隠匿——日英両帝国の比較に向けて」

益田 肇 (シンガポール国立大学)

「冷戦世界を考えなおす——社会戦争の時代」

高橋 和宏 (法政大学)

「『日米半導体交渉』再考」

討論 後藤 春美 (東京大学)

阿南 友亮 (東北大学)

部会4 From Voluntarism to Obligation: The Rise of Formal Institutions in the Asia-Pacific (英語で実施)

Chair: SUZUKI Motoshi (Kyoto University)

Speakers:

HOSHIRO Hiroyuki (University of Tokyo)

“Aid Coordination through Competition?: China and Japan in Pursuit of Economic Infrastructure Projects”

UJI Azusa (Kyoto University)

“Overcoming Political Competition in Environmental Cooperation”

GRIMES William (Boston University)

“Financial Cooperation in the Asia-Pacific as Regime Complex: Explaining Patterns of Coverage, Membership, and Rules”

HOLLIFIELD James (Southern Methodist University)

“Migration Interdependence in East and Southeast Asia”

Discussant:

MIDFORD Paul (Meiji Gakuin University)

部会 5 「宗教要因とリベラル秩序の動揺」

司会 見市 建 (早稲田大学)

報告 高光 佳絵 (千葉大学)

「戦間期におけるYMCAネットワークと米国中心のアジア・太平洋秩序形成」

星野 昌裕 (南山大学)

「中国の民族・宗教政策とリベラル秩序の変容」

坂梨 祥 (中東研究センター)

「イランの宗教体制とリベラル秩序——異議申し立てと正当性」

討論 山崎 望 (駒沢大学)

横田 貴之 (明治大学)

分科会セッションA (15:45~17:45) 別掲

第2日 10月29日 (土) 9:30~12:00, 16:15~19:05 (共通論題)

午前の部会 (9:30~12:00)

部会 6 「政治と音楽——国際関係を動かす対抗文化」

司会 細田 晴子 (日本大学)

報告 松本 佐保 (日本大学)

「イギリスの脱植民地化とロック、パンク、レゲエ音楽」

福田 宏 (成城大学)

「『正常化』期のチェコスロヴァキアにおける『脱イデオロギー化』とロック音楽の持つ政治的位相の変容」

高田 馨里 (大妻女子大学)

「文化戦争から対テロ戦争へ——Rap/Hip Hopの軍事化を問う」

討論 半澤 朝彦 (明治学院大学)

松尾 秀哉 (龍谷大学)

部会7 「同盟からネットワークへ——安全保障協力の新潮流」

司会 森 聡（慶應義塾大学）

報告 神保 謙（慶應義塾大学）

「インド太平洋地域における安全保障協力の構図」

山口 信治（防衛研究所）

「中国のパートナーシップ外交」

溜 和敏（中京大学）

「死語としての非同盟——現代インドの安全保障協力概念」

討論 庄司 智孝（防衛研究所）

福田 潤一（笹川平和財団）

部会8 日韓合同部会 “Economic Security: Japan and South Korea” 【英語で実施】

Chair: IIDA Keisuke (University of Tokyo)

Speakers:

SUGINOHARA Masako (Ferris University)

“Economic Security: The Case of Japan”

LEE Seungjoo (Chung-Ang University)

“US-China Strategic Competition and the Evolution of Korea’s Economic Statecraft”

LEE Wanghwi (Ajou University)

“Economic Security in Korea: Issues and Implications”

Discussants:

SOHN Yul (Yonsei University)

VEKASI Kristin (University of Maine)

LEE Junghwan (Seoul National University)

部会9 「政治体制・内政と外交とのリンケージ」

* 非登壇共著者

司会 松本 はる香（アジア経済研究所）

報告 井上 一郎（関西学院大学）

「官僚制と習近平時代の中国対外政策決定」

仙石 学（北海道大学）

「中東欧諸国の政党政治とウクライナ」

浜中 新吾（龍谷大学）、原田 有一朗*（龍谷大学）

「分離壁の旗下集結効果——ミクロ的基礎を求めて」

討論 多湖 淳（早稲田大学）

村上 勇介（京都大学）

部会10 「自由論題——国際政治学の最前線」

司会 片岡 貞治（早稲田大学）

報告 藤川 健太郎（名古屋大学）

“Building Peace after Self-determination and Partition: Faulty Assumptions?”

ボホロディチ・ベアタ（アダム・ミツキエビッチ大学）

「日米同盟に関する安全保障のコンセンサス——安全保障政策策定におけるシンクタン

クと『同盟マネージャー』の役割」
稲永 祐介（龍谷大学）
「環境危機へのアラート——生物多様性の保全をめぐるフランス政治」
討論 千々和 泰明（防衛研究所）
窪田 悠一（日本大学）

分科会セッションB （12：15～13：45）別掲
分科会セッションC （14：00～15：30）別掲

総会 （15：45～16：05）

【共通論題】「国際規範の衰退とグローバルガバナンスの停滞」（16:15～19:05）
司会 田所 昌幸（国際大学）
報告 西崎 文子（東京大学）
「『力の驕り』再考——冷戦後国際秩序とアメリカ」
廣瀬 陽子（慶應義塾大学）
「力による現状変更——ロシアの論理にどう対抗するか」
高柳 彰夫（フェリス女学院大学）
「COVID-19・ウクライナ危機時代のSDGsと国際開発協力のガバナンス」
討論 篠田 英朗（東京外国語大学）
西谷 真規子（神戸大学）

第3日 10月30日（日）14:00～16:30

分科会セッションD （9：30～11：00）別掲
分科会セッションE （11：15～12：55）別掲

午後の部会（14:00～16:30）

部会11 「米ソ冷戦の終焉と東アジア」

司会 李 鍾元（早稲田大学）
報告 金 成浩（琉球大学）
「東アジア冷戦構造の変容と継続——北朝鮮核問題との関連性を中心として」
三宅 康之（関西学院大学）
「中国と米ソ冷戦終焉——パリア国家から世界の工場へ」
若月 秀和（北海学園大学）
「冷戦の終焉と日本の東アジア外交」
討論 江藤 名保子（学習院大学）
富樫 あゆみ（東洋英和女学院大学）

部会12 「グローバル・マイグレーション——主体・規範・実践の変容と再編」

司会 石井 由香（静岡県立大学）

- 報告 飯笹 佐代子 (青山学院大学)
「マヌス島からの抵抗—オーストラリアの国外難民収容政策と収容されたアーティストらの抗議活動」
- 杉木 明子 (慶應義塾大学)
「国際難民保護レジームの変容とレジリエンス—ノン・ルフールマン原則と難民の非自発的帰還」
- 堀井 里子 (国際教養大学)
「欧州における難民の『自立』支援の批判的検討—非国家主体によるトランスナショナルな実践」
- 討論 土谷 岳史 (高崎経済大学)
中坂 恵美子 (中央大学)

部会13 「核兵器をめぐる国際政治の現在」

- 司会 秋山 信将 (一橋大学)
- 報告 川崎 哲 (ピースボート)
「核兵器禁止条約の意義と展望」
- 鶴岡 路人 (慶應義塾大学)
「ポストINF条約の課題」
- 向 和歌奈 (亜細亜大学)
「核軍縮における先制不使用の効用と限界」
- 討論 石田 淳 (東京大学)
栗田 真広 (防衛研究所)

部会14 「ウクライナ・ロシア問題の多角的考察」 (市民講座を兼ねる)

- 司会 宇山 智彦 (北海道大学)
- 報告 大串 敦 (慶應義塾大学)
「脆弱な中央・強靱な地方—独立後ウクライナの政治構造」
- 松寄 英也 (津田塾大学)
「冷戦終焉とウクライナの秩序観—主権擁護の構想の歴史的変遷」
- 立石 洋子 (同志社大学)
「ロシアのアイデンティティと歴史—ウクライナとの関係の観点から」
- 討論 浜 由樹子 (静岡県立大学)
熊倉 潤 (法政大学)

部会15 「研究・教育を取り巻く環境と課題—ライフワークバランス・ジェンダー・キャリアについての考察 (ラウンドテーブル方式)」

- 司会 畠山 京子 (新潟県立大学)
- 報告 礪波 亜希 (筑波大学)
「女性研究者の研究・教育環境と課題—『帰還者』としての経験から」
- 松岡 美里 (帝京大学)
「加速する社会における研究・教育環境と課題—若手女性研究者の視点から」
- 堀江 正伸 (青山学院大学)
「大学での研究・教育における『実務家教員』の役割と課題」